



広報紙

よくゆく

第172号
令和8年 1月13日
49普通広報班

謹賀新年



主な記事

- 1面 新年のご挨拶
- 2面 新年のご挨拶
- 3面 午年生まれ新年の抱負
- 4面 人事往来・定年退官
- 5面 第5次連隊野営訓練
- 6面 フォトギャラリー

新年のご挨拶



第49普通科連隊長
1等陸佐
近藤 浩行

新年あけましておめでとうございます。連隊後援会及びOB会の皆様、即応予備自衛官雇用企業の皆様並びに隊員とご家族の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

令和5年3月に連隊長に着任し三回目の新年を迎えました。この間常即一体となつて招集訓練等に励んでまいりました。特に射撃訓練を重視して取り組んでまいりましたが、昨年12月に陸上自衛隊として初めて射撃競技会が実施され、連隊から小銃一個分隊が中部方面隊の代表の一員として参加し、全国の普通科部隊から選抜された強豪とその技能を競い合うことができ、大変意義のある年となりました。競技会までの練成を通じ、射撃技能の向上のみならず、団結の強化、士気の高揚を図れたものと感じております。令和8年はこの成果を参加選手以外にも拡充し、連隊全体の練度向上を図る所存です。

さて、わが国を取り巻く安全保障環境は戦後最も厳しく複雑な状況が続き、防衛力の更なる強化が必要とされる中、我々自衛隊に課せられた責任は益々重大になってきていますと認識しております。このような情勢において、連隊はこれまで以上に強い緊張感と使命感を持って、精到な訓練を通じて所望の練度・能力を備えた部隊を育成し、いかなる事態等にも即応して与えられた任務を常即一体となつて成し遂げ、皆様の負託にこたえてまいります。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。本年が皆様にとりまして幸多き一年となりますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



第49普通科連隊長
後援会長
穂浪 明夫

第49普通科連隊の隊員・ご家族の皆様、後援会OB会並びに関係協力団体の皆様「新年明けましておめでとうございませう。」

昨年は、東富士演習場迫撃砲射撃訓練見学(OB会と合同)ツアーに参加したと・高市女性総理の誕生・ドジャースが、日本人3選手の大活躍でMLB2連覇・熊が住宅地への出没の頻発などが発生しています。

そこで、我々が住む地球について再認識する為はその歴史を遡ってみましょう。地球誕生は約46億年前です。地球の半径は、約6千4百kmです。地球の中心に核、その外周にマントル層があり、地殻層(プレート)があります。地殻には、大陸地殻と海洋地殻がある。核の温度は4千度以上、マントルは千度以上です。

地震は、地球地下の構造に由来する核を原因として、数百万年かけて地殻移動により大陸が結合(形成)と分裂(破壊)を繰り返した。其の度に大規模な気候の寒冷化(氷河期)、大量絶滅、新しい山脈の形成、新種生物の出現などありましたが、今も地殻移動は徐々に継続しています。

数百万年後には、再度大規模な地殻移動が予測されていて、どうなっていることや隊員諸氏に贈る言葉も鑑賞して下さい。

「ゆく河の流れは絶えずして、しかも、もとの水に有らず」 方丈記/鴨長明



アブラボウズ (福島県にて)



第49普通科連隊長
OB会長
野末 英明

謹んで新春のお慶びを申し上げます。皆様健やかに輝かしい新年を迎えられたことと存じます。

昨年は49OB会として予定の事業をおおむね行うことが出来ましたことは皆様のご協力の賜物でありこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。

連隊の皆様におかれましては、射撃競技会、各種特技検定、バトラーを使用した実戦的な訓練練度判定等々日夜厳しい訓練にまい進され崇高な使命を全うされてきているお姿に、OBとして常に敬意と感謝の念を抱いております。

今年には十二支の「午(うま)」の年。古くから午は勢いよく駆ける姿から「前進」や「飛躍」の象徴とされてきました。また、太陽が真上に昇る「正午」に通じ、物事が最も盛んになる時期を意味するといわれます。この一年が、皆さまにとつて力強く駆け抜け、実り多い年となりますよう心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いたします。





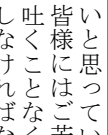
**連隊最前任上級曹長
准陸尉 安田 勝之**

新年あけましておめでとうございませう。
第49普通科連隊の隊員・ご家族の皆様、連隊後援会・連隊OB会並びに即応予備自衛官雇用企業主の皆様におかれましては、健康やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、平素からのご支援、ご理解を賜り御礼申し上げます。
昨年については、隊員の育成、特に、次の時代を担う若手隊員の自信付与に繋がるよう、3等陸曹集合教育を実施し、人材育成に取り組んでまいりました。連隊は、即応予備自衛官招集訓練を主体に、各種射撃訓練、事態対処訓練、銃剣道及び拳法集合訓練等、年間を通じ実施するとともに、国内における射撃競技会に混成団代表として参加する等、日々練習に励んでまいりました。今後も、皆様の期待に応え、信頼を獲得できるよう自身のモットーである「感謝」の気持ちを忘れることなく日々精進してまいります。



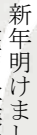
**本部管理中隊長
1等陸尉 浜田 真二**

皆さん新年明けましておめでとうございませう。本部管理中隊長として上番し早1年半、中隊は「融和団結」及び「個人の充実」をモットーに日々訓練等に励んでおります。連隊の特性上、即応予備自衛官の招集訓練が週末になることが多く、特に隊員ご家族の皆様にはご苦労をおかけしていますが、ご容赦ください。即応予備自衛官の隊員は、平日は民間の企業等で働き、土日に自衛官として出頭し休みなく勤務していますので、常備自衛官には弱音を吐くことなく即応予備自衛官の隊員を善導しなければならぬと私は常日頃から常備自衛官達を指導しています。だからこそ、平素から皆で協力し合うとともに、心配事等もなくして、個人・家庭を充実させていた



**第1中隊長
1等陸尉 石川 公文**

いと思つていきます。引き続き隊員ご家族の皆様にはご苦労をおかけしますが、悩み等吐くことなく即応予備自衛官の隊員を善導しなければならぬと私は常日頃から常備自衛官達を指導しています。だからこそ、平素から皆で協力し合うとともに、心配事等もなくして、個人・家庭を充実させていたご家族の皆様にはご苦労をおかけしますが、悩み等あります。本年も良い年になるようお祈りするとともに、よろしくお願い致します。



**第2中隊長
1等陸尉 井谷 公紀**

新年明けましておめでとうございませう。雇用企業主様、連隊後援会員様、隊員並びにご家族の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。昨年3月に第10代第1中隊長に就任した石川公文です。中隊長統率方針を「前進」要望事項に「感謝と敬意」を掲げ常即自衛官が一体となり、あらゆる任務を完遂するため訓練に励んで参ります。何卒よろしくお願いいたします。
結びに、皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。



**第3中隊長
1等陸尉 尾崎 勝繁**

新年明けましておめでとうございませう。隊員・隊員ご家族の皆様、雇用企業主様及び連隊OB会並びに連隊後援会の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
昨年度は、特に中隊練度判定において常即一体となり情報と火力の連携により敵を撃破、任務を完遂することができました。この成果に慢心することなく、更なる高みを目指し訓練を重ね、如何なる事態にも即応できる部隊となるよう一丸となって努力する所存です。
最後に努力しましたが、皆様の今年一年のご健勝とご多幸を祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



**第4中隊長
1等陸尉 佐々木 勝成**

新年明けましておめでとうございませう。平素からご協力、ご支援をいただいております。即応予備自衛官雇用企業主の皆様、連隊後援会・OB会皆様、所属隊員ご家族皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
部隊の平素は訓練を積み上げ遂行能力を構築することが任務であります。昨年度当初より中隊練度判定を始め、各種教育訓練を実施し、中隊の任務遂行能力向上を図ることができました。所属隊員がその成果を得ることができたのも、平素よりご理解いただいている皆様のおかげであると感じ申し上げます。
本年も中隊は、服務の宣誓をした重責



**第5中隊長
1等陸尉 早川 勉**

新年あけましておめでとうございませう。隊員・隊員ご家族の皆様、雇用企業主様並びに協力諸団体の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
昨年は新年早々、極寒のあひばの演習場での中隊検閲受閲から始まり、各隊員が各自の役割に基づき練成することができ、一年間かけて部隊及び個人の練度向上を図ることができました。
今年も、「午(うま)年」であるので、競走馬のように疾風のごとく駆け巡るような勢いになって、将棋の桂馬のように跳ね上がるような練成を重ね、日々練度向上に邁進してまいります。
最後になりますが、本年が皆様にとりましてさらに幸多き年でありませうに祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



**重迫撃砲中隊長
1等陸尉 田中 太朗**

新年明けましておめでとうございませう。隊員・ご家族の皆様、連隊後援会、OB会並びに雇用企業主の皆様、お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。
昨年は火力戦闘部隊「ラピュタ」としての誇りと諸先輩方の伝統を継承しつつ隊員一同の努力の結果が射撃に顕れ、練度を積み重ね任務を完遂することができました。
本年も大谷選手を含む日本人トリオ大活躍のようになり、三者連携訓練から団結し、更なる射撃練度の向上に、今後の任務の達成に必要な練度と将来を見据えて必要な練度の向上に励み、健康な身体と感謝の心をもって、如何なる事態にも即応できる部隊となるよう練習します。
最後に、本年も隊員と共に明るく楽しく充実した一年となるよう一層努力し、皆様のご健勝とご活躍を祈念するとともに、ご理解、ご協力を賜りますよう申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。

午年生まれ 新年の抱負



本部管理中隊
1等陸曹 田中 智則

新年明けましておめでとうございます。今年度の抱負として体力の維持及び健康管理に留意したいと思っております。料理をするのが趣味の一つでもあるため、バランスの良い食生活を心掛け生活習慣病検査において晴れマークを目標としたいと考えています。プライベートにおいて、去年より釣りを教えていただき、徐々に成果があり、今後も趣味の一つとして楽しく成果をあげ美味しい魚を食べ、肉より魚生活。通信小隊陸曹として今年も、各中隊との通信基盤の調整等、円滑にできるよう業務に邁進したいと思っております。今年もよろしくお願いたします。



第1中隊
1等陸尉 石川 公文

新年明けましておめでとうございます。午年の年男として馬にまつわるお話をさせていただきます。馬は大昔から人間と共に生活していただき、馬は草食動物であり基本的に温厚で従順です。軍事的には騎兵隊や荷馬車といった活用もされ、近年もアフガンの山岳地帯等においてその機動力が再活用されています。馬にまつわる慣用語等も多く日本人としても身近な存在ではないでしょうか。また、馬の蹄（ひづめ）は魔除けや幸運のシンボルとされ、その形状から上向きだと幸運を溜め込む下向きだと不運を落とす。と言われどちら向きでも縁起の良い物とされています。この様に馴染み深い馬ですが、年男として今年には“人間万事塞翁が馬”をスローガンに目の前



第2中隊
3等陸曹 徳田 潤

今年、年男として36歳を迎えるにあたり、新たな決意を胸に刻んでいます。昨年は娘が誕生しました。妻と娘の家族3人での生活が新たにスタートし、人生の大きな節目となる年でした。本年は、この幸せな環境をさらに盤石なものにする一年にしたいと考えています。仕事において36歳というのは世間一般でいう所の中堅となる年齢であります。49普連において、私は階級こそ中堅ではありませんが年相応の意識の下、業務に対する責任感を持ち、周囲との連携を深め、より部隊に貢献できるように追及していきます。

また家庭においては、妻への感謝を忘れず、育児に今まで以上に積極的参加し、娘の成長を妻と共に見守り、笑顔の絶えない温かい家庭を築くことを目指します。最後になりますが、これまで述べた抱負は全て身心の健康の下、成り立つものであります。日々の体力錬成及び健康管理に留意し、過ごすことを目標にして年男の抱負を締めさせていただきます。



第2中隊
即応予備3等陸曹 鈴木 佑一

明けましておめでとうございます。即応予備自衛官の鈴木3曹です。年男ということに恐縮ではありますが、新年の抱負を述べさせていただきます。私の家は兵庫東西宮市で農業を営んでおります。物価高や農家の減少が叫ばれる中、農業の役割を考える日々を送っております。また、昨年度は無事に子供も生まれ、父親の役割も増えました。少し話が逸れませんが、地の塩と言う言葉があります。塩と見た目がよく似ている砂糖と味や役割が遠くのように、求められる役割を果たしてこそ意味があるという解釈をもつ言葉



第3中隊
即応予備1等陸曹 異 豊和

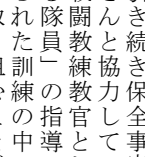
新年あけましておめでとうございます。本年、私は4回目の年男を迎えることになりました。「もうそんな歳か」と思いつつも気持ちだけはまだ20代のつもりで頑張っております。まず、招集訓練にあたり日頃よりご理解とご協力をいただいている雇用企業の皆様、心より感謝申し上げます。また、常備自衛官の皆様には訓練の日程調整や準備、さまざまなお指導など日々のご尽力に支えられていることを改めて実感し感謝の気持ちでいっぱい

さて、今年の抱負についてですが、年齢を重ねるにつれ、健康の大切さをひしひしと感じるようになりました。現役の頃は毎日の持走りが正直苦痛で仕方なかったのですが、今は走らないと落ち着かないほど。人間変われば変わるものです。ただ、苦手なこと続けるには目標が必要だと感じ、現在は「全国各地のマラソン大会で完走メダルを集める」ことを楽しみにしています。「遅く、長く、無理をせず、記録より記憶に残るように」をモットーに走っていますが、時には翌日の筋肉痛のほうが強くて記憶に残ることもあります(笑)。今年少し減量して軽やかに走れる体づくりを目指し、体力の維持・向上に努めたいと思っております。



第4中隊
2等陸曹 黒岩 健太

新年あけましておめでとうございます。第4中隊の黒岩2曹です。連隊に転入して7年が経ちました。この7年を振り返ると職務・任務における自身のスキルアップをはじめ、私生活においても充実したものに



第5中隊
2等陸曹 瀧本 雅美

新年明けましておめでとうございます。本年、年女を迎えるにあたり、これまでお世話になった上司や仲間への感謝の気持ちを忘れず、新たな一歩を踏み出す年にしていきたいと考えています。これまでの経験を大切にしながら、自分のできることを一つひとつ確実に積み重ね、任務を着実に遂行できるよう努めていきたいと思っております。また、健康管理と体力錬成を継続し、どのような状況にも落ち着いて対応できるよう、日々心掛けていきたいと思っております。部隊の一員として、協調と助け合いを大切に、明るく前向きな姿勢で日々の業務に取り組んでまいります。



重迫撃砲中隊
即応予備陸士長 前田 健太郎

新年あけましておめでとうございます。即応予備自衛官として第49普通科連隊重迫撃砲中隊に転入して1年9カ月が経ちました。退職前と職種が異なり、慣れないことも多く、戸惑う場面もありますが、それでもここまで続けてこられているのは、重迫撃砲中隊の皆様のおかげです(4面に続く)

(3面から続く)

があつてこそと感じています。現在、私は大学3年生で、大学では野外教育について研究しています。年男を迎えるにあたり、新年の抱負を述べさせていだきます。まずは、訓練出頭30日間の達成と特技の取得、そして大学を無事に4年間で卒業し、就職活動に成功させることです。まだまだ部隊において大きなことはできませんが、少しでも出来ることを増やし、舞台に貢献したいと思えます。今年も温かいご指導よろしくお願いします。

定年退官



本部管理中隊 准陸尉 花井 孝行

「長い間お世話になり、ありがとうございました。」

〈令和8年1月10日付〉

長年にわたる勤務、大変お疲れ様でした。

栄光

永年勤続表彰25年

連隊本部	1尉	広之
本部管理中隊	2尉	俊哉
同	2尉	北澤
同	2尉	中島
同	2尉	森本
同	2尉	金丸
同	2尉	津田
同	2尉	東田
同	2尉	本間
同	2尉	大岡
同	2尉	大竹
同	2尉	真二

車両無事故走行表彰

5万km	2曹	山口	尚人
第3中隊	2曹	山本	祐紀
第3中隊	2曹	石川	正房
第4中隊	2曹	石川	正房

令和7年度豊川駐屯地司令感謝状

第49普通科連隊後援会 石黒 正康 様

人事往来

新着任指揮官紹介



第2中隊長 1尉 井谷 公紀

転入者

第2中隊へ 1尉 井谷 公紀 (4曹教・大津) 〈令和7年12月1日付〉

ご栄転

本部管理中隊	2曹	西山	潤 (4曹教・豊川)
第1中隊	1曹	曾我	洋 (4曹教・豊川)
第2中隊	3佐	友田	進 (4曹教・豊川)
第3中隊	2曹	楠	誠功 (4曹教・豊川)
第3中隊	2曹	加茂	裕弥 (4曹教・豊川)
第4中隊	曹長	板頭	秀幸 (4曹教・豊川)
第5中隊	2曹	牛尾	友和 (4曹教・豊川)
第5中隊	2曹	馬場	友宏 (4曹教・豊川)

〈令和7年12月1日付〉

祝 昇任

准陸尉へ	渡邊 学
第5中隊	横井 一成
陸曹長へ	松垣 晃
本部管理中隊	星場 彦志
第1中隊	竹田 大司
第2中隊	加藤 智也
第1中隊	田口 隼
第2中隊	高野 晃斗
第3中隊	小笠原 行克
第3中隊	田之上 大樹
第5中隊	南田 慧一
重迫撃砲中隊	鈴木 宏和
同	渡 幸一郎

〈令和8年1月1日付〉

令和7年度 隊内生活体験

連隊は令和7年10月22日から24日の間、豊川駐屯地が実施する隊内生活体験を支援した。本生活体験はみよし市役所及びNTツール株式会社の職員が参加した。隊内生活体験は自衛隊に対する親近感と信頼感の獲得を目的に、2泊3日の日程で基本教練、災害時を想定した徒歩行進、格闘(護身術)、駐屯地での生活を通じて、集団行動における協調性とリーダーシップ、団結力を深めた。

豊川駐屯地創立75周年記念行事

連隊は令和7年11月29日に実施された豊川駐屯地創立75周年記念行事に参加した。駐屯地南側の訓練場において観閲式、観閲行進、訓練展示が行われたほか、駐屯地内において装備品展示や体験試乗なども行われた。連隊は訓練展示を主に担当し、駐屯地所在部隊とともに迫力ある陣地攻撃を展示した。また、連隊後援会の石黒氏に豊川駐屯地司令感謝状が贈られた。



駐屯地内において装備品展示や体験試乗なども行われた。連隊は訓練展示を主に担当し、駐屯地所在部隊とともに迫力ある陣地攻撃を展示した。また、連隊後援会の石黒氏に豊川駐屯地司令感謝状が贈られた。



担架搬送



基本教練



令和7年度第5次連隊野営

連隊は令和7年10月17日から20日の間、東富士演習場において令和7年度第5次連隊野営を実施した。

87ATM&J-SAM練成射撃を実施

本野営訓練は87式対戦車誘導弾及び国内における射撃競技会（「J-SAM」という。）へ向けた練成射撃を訓練課題とし、各射撃練度向上を図ることを目的として実施した。

本訓練は分隊長の指揮の下、敵方から隠ぺいされた場所から射撃する遮蔽射撃の要領により、陣地進入、機材布置から射撃の一連の流れで実施した。J-SAM練成射撃は、全国から選抜された部隊・射手が参加するJ-SAM参加に向けたものであり、9mm拳銃、対人狙撃銃、89式小銃及び5.56mm機関銃MINI I M Iによる射撃をそれぞれ、J-SAM競技の要領で実施することで、競技会本番での万全を図った。



国内における射撃競技会（J-SAM）練成訓練



連隊は、国内における射撃競技会（J-SAM）に向けて、年度当初から計画的に練成訓練を実施した。令和7年12月に東富士演習場において実施された競技会本番には、中部方面混成団の代表として、分隊射撃の部、個人の部の各競技に代表選手が参加した。



第49普通科連隊	代表選手
第1中隊	井上 明広
第2中隊	加藤 拓海
第3中隊	竹田 大司
第3中隊	山口 尚人
2曹 中山 直大	
2曹 山本 祐紀	
重迫撃砲中隊	奥村 真人
3曹 奥村 真人	
補欠要員	
本部管理	
中隊	
2曹 廣部 太祐	



Gallery Forty Nine



事態対処訓練(10.10-14、信太山)



令和7年度情報管理検査(後期)
(10.30、豊川)



技能公募予備自衛官招集訓練
(11.1-5、豊川ほか)



3等陸曹集合訓練(11.6、豊川)



健康管理、メンタルヘルス、
ハラスメント教育(11.7、豊川)



令和7年度第6次連隊野営(11.10-14、日本原)



近代5種アジア選手権大会支援
(11.12-16、豊川)



自衛隊音楽まつり支援(11.15、東京)



第2中隊長【友田3佐】離任式
(11.28、豊川)



第2中隊長【井谷1尉】着任式
(12.1、豊川)



混成団長初度視察(12.3、豊川)



中部地区自衛隊拳法選手権大会
(12.6-7、伊丹)



即自招集訓練(12.13、豊川)



連隊年末行事(12.19、豊川)



連隊訓練始め(1.8、豊川)



定年退官者見送り(1.8、豊川)